在ベネズエラ日本国大使館

ベネズエラ情勢（内政・外交：令和４年１月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	193名	444,828名	3名	5,331名	434,516名
2日	144名	444,972名	2名	5,333名	434,897名
3日	110名	445,082名	2名	5,335名	435,097名
4日	287名	445,369名	2名	5,337名	435,281名
5日	311名	445,680名	4名	5,341名	435,507名
6日	346名	446,026名	4名	5,345名	435,794名
7日	401名	446,427名	3名	5,348名	436,111名
8日	414名	446,841名	4名	5,352名	436,508名
9日	447名	447,288名	5名	5,357名	436,764名
10日	577名	447,865名	4名	5,361名	437,084名
11日	598名	448,463名	5名	5,366名	437,335名
12日	1,267名	449,730名	4名	5,370名	437,624名
13日	1,162名	450,892名	3名	5,373名	437,891名
14日	1,538名	452,430名	3名	5,376名	438,119名
15日	1,544名	453,974名	2名	5,378名	438,341名
16日	1,049名	455,023名	2名	5,380名	438,541名
17日	1,618名	456,641名	3名	5,383名	438,722名
18日	2,090名	458,731名	4名	5,387名	439,641名
19日	2,328名	461,059名	5名	5,392名	441,156名
20日	2,086名	463,145名	3名	5,395名	442,217名
21日	2,318名	465,463名	4名	5,399名	443,930名
22日	2,401名	467,864名	3名	5,402名	445,846名
23日	1,702名	469,566名	3名	5,405名	447,171名
24日	1,823名	471,389名	5名	5,410名	448,969名
25日	1,736名	473,125名	4名	5,414名	450,670名
26日	2,010名	475,135名	5名	5,419名	452,613名
27日	1,887名	477,022名	6名	5,425名	454,418名
28日	1,989名	479,011名	5名	5,430名	456,386名
29日	2,364名	481,375名	6名	5,436名	459,467名
30日	2,646名	484,021名	4名	5,440名	461,972名
31日	1,953名	485,974名	7名	5,447名	463,648名

（ア）　２日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラ国民の９１%が新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を行った

旨述べた。

（イ） ３日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、同日より、中国製シノファーム社製新型コロナウイルス感染症ワクチン及び露製新型コロナウイルス感染症ワクチン Sputnik Light を利用したブースター接種を開始した旨述べた。

（ウ） ４日、マドゥーロ大統領は、新たな発表があるまで、外出規制緩和措置を継続する旨述べた。

（エ） ４日、ユニセフ・ベネズエラ事務所は、ＣＯＶＡＸを通じて、ベネズエラに３１０万ドースのシノファーム社製新型コロナウイルス感染症ワクチンが到着した旨発表した。

（オ） ４日、ニコラス・マドゥーロ・ゲラ体制側国会議員（マドゥーロ大統領の息子）は、自身のツイッターを通じて、新型コロナウイルスに感染した旨報告した。

（カ） ９日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、翌１０日よりクリスマス休暇を終了し、対面式授業を再開する旨述べた。

（キ） １５日、マドゥーロ大統領は、体制側国会における一般教書演説において、中国、ロシア、キューバのおかげで、ベネズエラ国民のワクチン接種率が９５%に近づいている旨述べるとともに、１０万人あたりの感染者数が約１８人であり、直近１５日間で大幅に感染者数が増加している旨述べた。

（ク） １６日、マドゥーロ大統領は、翌１７日以降も外出規制緩和措置を継続する旨述べた。

（ケ） １７日、ブリセニョ保健省資源・技術・基準担当次官は、ＣＯＶＡＸを通じて、３１０万ドースのシノファーム製新型コロナウイルス感染症ワクチンが到着した旨発表した。

（コ） １９日、カプリレス元ミランダ州知事は、自身のツイッターを通じて、新型コロナウイルス感染症に感染した旨述べた。

（サ） ２３日、マドゥーロ大統領は、翌２４日以降も外出規制緩和措置を継続する旨述べた。

（シ） ２４日、マドゥーロ大統領は、新型コロナウイルス変異株オミクロン株の影響で新規感染者数の増加が続いている旨発表するとともに、６名の州知事（アラグア州、メリダ州、トゥルヒージョ州、ヤラクイ州、ポルトゥゲサ州、デルタ・アマクロ州）が新型コロナウイルス感染症に感染した旨述べた。

（ス） ２４日、ベネズエラ航空当局（INAC）は、コミュニケを通じて、これまで運航が許可されていた国との間の商用便に加え、スペインとの間での商用便の運航を許可する旨発表した。

（セ） ３０日、アルバラド保健大臣は、ベネズエラにキューバ製新型コロナウイルス感染症ワクチン・ソベラナ・プラス１００万ドースが到着した旨述べた。

（２） バリナス州知事選挙

（ア） ９日、バリナス州知事選挙が実施され、全国選挙評議会（CNE）は、同日付プレスリリースを通じて、バリナス地方選挙委員会による第１回目の開票結果（有権者投票率：５１．８９%、開票率：９７．４０%（投票数３１１，５９９票））を発表した。同発表によると、セルヒオ・ガリド候補（野党連合（MUD））が、ホルヘ・アレアサ候補（大愛国同盟（GPP））に約１４ポイント（約４４，０００票）の差をつけて勝利。

（イ） ９日、アレアサ候補は、自身の敗北を認めるメッセージを自身のツイッターに投稿した。

（３） 大統領罷免国民投票

（ア） １７日、全国選挙評議会（CNE）は、大統領罷免国民投票の開催に向けた手続き開始を求める要請を承認した旨発表した。

（イ） ２２日、CNE は、大統領罷免国民投票に向けた国民の意思確認に関連する活動のスケジュールを CNE のホームページに掲載した。なお、同実施スケジュールによると、２６日、国民の意思確認を実施する予定。

（ウ） ２６日、全国選挙評議会（CNE）は、大統領罷免国民投票の実施の可否を決定するための国民の意思確認が問題無く終了した旨述べた。

（エ） ２７日、CNE は、同日午前までに、２６日に全国１，２００カ所の意思確認実施場所において１２時間に亘り実施された意思確認の９８.５８%を集計し、４２，４２１名の意思確認が実施された旨述べた。また、同日、ダメリオ CNE 委員は、同結果に基づき、大統領罷免国民投票の要請を認めない旨述べた。なお、ピコン CNE 委員等は、CNE によって実施された今次大統領罷免国民投票の実施スケジュールは実現可能なものではないと述べた。

（４） 国会動向

（ア） ３日、オンライン方式で開催されたグアイド側国会特別審議において、政権移行法改正案の第２回目の審議が実施され、可決された。

（イ） ５日、体制側国会は、今年度の国会通常会期の開会セッションを開催し、今年度の体制側国会議長、第一副議長、第二副議長として、それぞれ、ホルヘ・ロドリゲス（再任）、イリス・バレラ（再任）、バネッサ・モンテロ（新）が選出された。

（ウ） ５日、グアイド側国会は、今年度の国会通常会期の開会セッションを開催し、今年度のグアイド側国会議長、第一副議長、第二副議長として、それぞれ、フアン・グアイド（再任）、フアン・パブロ・グアニパ（再任）、カルロス・ベリスベティア（新）が選出された。

（５） その他

（ア） １３日、マドゥーロ大統領は、９日の州知事選挙で勝利をしたガリド新バリナス州知事（野党連合（ＭＵＤ））と会合を実施し、同会合において、バリナス州の問題の解決に向けてコミットする旨述べた。

（イ） １５日、マドゥーロ大統領は、体制側国会において、一般教書演説を実施した。同演説において、政治、経済、新型コロナウイルス感染症等について言及した。

（ウ） １９日、マルコ水問題担当大臣は、ベルナル・タチラ州知事と、同州における衛生設備及び飲料水サービスの改善に向けて、会合を実施した。

（エ） ２０日、体制側国会は、最高裁判事を選出するための選定委員会の予備委員会を構成する１１名の体制側国会議員を任命した。なお、選定委員会は、１１名の国会議員及び１０名の市民社会代表によって構成される。

２　外交

（１）　プラセンシア外相の第２２回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）外相会合出席

（ア）　６日、プラセンシア外相は、第２２回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）外相会合に出席するためにアルゼンチンに到着した。

（イ）　７日、プラセンシア外相は、カフィエロ・アルゼンチン外相と、両国間の協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（ア）　７日、プラセンシア外相は、第２２回 CELAC 外相会合において、中南米地域の国に対する一方的且つ強制的措置を非難した。

（２）　ベネズエラ代表団のホンジュラス大統領就任式への出席

（ア）　２７日、エクトル・ロドリゲス・ミランダ州知事（団長)率いるベネズエラ代表団は、ホンジュラス大統領就任式に出席し、ゴドイ女性・ジェンダー大臣及びプラセンシア外相が同行した。

（イ）　２８日、ベネズエラ代表団は、シオマラ・カストロ・ホンジュラス大統領と、両国間の兄弟愛の関係に関し、会合を実施した。

（ウ）　２８日、プラセンシア外相は、在ホンジュラス・ベネズエラ大使館の奪還、並びに、ベネズエラとホンジュラスの外交関係の再開を発表した。

（エ）　２９日、ベネズエラ政府は、ゴドイ前女性・ジェンダー大臣を駐ホンジュラス・ベネズエラ大使に任命し、同大使は、同日、レイナ・ホンジュラス外相に信任状写しを手交した。

（３）　その他

（ア）　２日、マドゥーロ大統領は、イグナシオ・ラモネ・ジャーナリストのインタビューにおいて、メキシコでの与野党間交渉の再開には、アレックス・サーブ「ベネズエラ政府外交官（米国に身柄引渡された)」の事実に変化が必要であるとし、バイデン米政権との直接的かつ誠実な対話の開始に向けた意向を表明した。

（イ）　４日、プラセンシア外相は、３名のベネズエラ人がコロンビアにおいて殺害されたことに対して、ドゥケ・コロンビア大統領が「選択的消滅」を率いているとして非難した。

（ウ）　５日、ベネズエラ政府は、外務省声明を通じて、米国が、４日付米国務省プレスリリースを通じて、グアイド側国会及びグアイド暫定大統領を承認し続ける旨表明したことに対する拒絶を表明した。

（エ）　７日、ルイス民衆擁護官は、Pascal Esso ベナン共和国仲裁人と、ベネズエラとベナンの両国国民の人権に関する合意に署名した。

（オ）　１０日、マドゥーロ大統領は、オルテガ・ニカラグア大統領就任式への出席を目的にニカラグアを訪問した。マドゥーロ大統領は、ニカラグア到着時に、ベネズエラとニカラグアの兄弟国の国民間の団結と連帯を強調するとともに、客年１１月のニカラグアの選挙プロセスに祝意を表明した。

（カ）　１１日、マドゥーロ大統領は、２０２２年にベネズエラ・ニカラグア・ハイレベル合同会合の実施を推進する旨述べた。

（キ）　１１日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、セファリア駐ベネズエラ・ローマ法王庁臨時代理大使と、新年の挨拶、並びに、ベネズエラとバチカンの関係の強化を目的に会合を実施した。

（ク）　１３日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Sung Gil 駐ベネズエラ・北朝鮮大使と会合を行い、同会合において、両国間の既存の協力関係の確認、並びに、米国の強制的且つ一方的措置に

対する協働した闘いの再確認を行った。

（ケ）　１４日、プラセンシア外相は、Muse Ali ソマリア外相と、二国間対話の強化及び様々な協力に関し、会合を実施した。

（コ）　１４日、プラセンシア外相は、ムフラル・トレウベルディ・カザフスタン外相と、二国間協力に関し、会合を実施した。

（サ）　１４日、プラセンシア外相は、ヒューマン・ライツ・ウォッチが発表した最新の報告書を完全な虚言であると評価した。

（シ）　１６日、マドゥーロ大統領は、フェルナンデス・アルゼンチン大統領に対し、アルゼンチンのラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（ＣＥＬＡＣ）の議長国就任に祝意を表明した。

（ス）　１７日、プラセンシア外相は、サパタ新駐ベネズエラ・ペルー大使から信任状写しを受領した。また、同日、マドゥーロ大統領は、同新大使から信任状を受領した。

（セ）　１７日、マドゥーロ大統領は、Abdelkader Hadjazi 新駐ベネズエラ・アルジェリア大使から、信任状を受領した。

（ソ）　１７日、マドゥーロ大統領は、Khalil Bitar 駐ベネズエラ・シリア大使に対し、同大使の離任の機会に、叙勲を行った。

（タ）　１７日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、メリク・バグダサロフ駐ベネズエラ・ロシア大使と、二国間の協力及び兄弟愛の関係の強化に関し、会合を実施した。

（チ）　１８日、ベネズエラは、非アフリカ国で初めてアフリカ産油国連合（ＡＰＰＯ）の加盟国となった。

（ツ）　１８日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、Molchan 駐ベネズエラ・ベラルーシ大使と、団結と協力関係のレビューに関し、会合を実施した。

（テ）　１９日、プラセンシア外相は、アニェス前ボリビア暫定政権の支援の下、グアイドの不当な外交代表団が、在ボリビア・ベネズエラ大使館の公有財産を盗難した証拠を提示した。

（ト）　２０日、マドゥーロ大統領は、プーチン・ロシア大統領と、両国間関係及び共同プロジェクトの進展に関し、電話会談を実施した。

（ナ）　２０日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、岡田・日本大使と、同大使の離任の機会に会合を実施した。

（ニ）　２０日、プラセンシア外相は、モトリー・バルバドス首相が再選した選挙の実施に対する祝意を表明した。

（ヌ）　２１日、体制側国会は、Giuseppe Yoffreda 現駐カタール・ベネズエラ大使の駐中国ベネズエラ大使（モンゴル兼轄）への任命を承認した。

（ネ）　２１日、モレノ最高裁長官は、オランダにおいて開催された国際刑事裁判所の２０２２年開会式に招待され、同開会式に参加した。

（ノ）　２１日、トロンピス駐ボリビア・ベネズエラ大使は、マイタ・ボリビア外相に対して、信任状の写しを提出した。

（ハ）　２４日、プラセンシア外相は、ベネズエラが、国際的な財政的コミットメントを遵守することを不可能にしている強制的且つ一方的措置の結果、ベネズエラの国連に積極的に参加する権利が侵害された旨非難した。

（ヒ）　２４日、ヒメネス科学技術大臣は、王志剛・中国科学技術部部長とテレビ会議を実施し、両者は、国民の

幸福を目的に、二国間交流と科学技術協力を拡大することに合意した。

（フ）　２５日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、国連人権理事会第４０回普遍的・定期的レビュー（UPR）の対ベネズエラ審査において、建設的な意見を表明した諸国に謝意を表明するとともに、強制的且つ一方的措置に対する非難及び同措置の即時停止を要求した。また、同日、オリビア・ロサノ・グアイド側国会外交・主権委員会委員長は、マドゥーロ体制による人権侵害及び人道危機等に対する闘いにおける各国の支援に対する謝意を表明した。

（ヘ）　２６日、リ・カウシ・カリブ地域担当外務次官は、カリブ諸国連合観光特別会合において、観光分野における進捗状況に関し言及した。

（ホ）　２７日、マドゥーロ大統領は、食糧安全保障に向けた国連食糧農業機関（FAO）との協力に関するベネズエラ政府の意思を再確認した。

（マ）　２８日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官が、Guruceaga 在ベネズエラ・タイ名誉領事と、２０２２年における共同取組のアジェンダに関し、会合を実施した。

（ミ）　３１日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、アジア各国に駐在しているベネズエラ大使と、ビデオ電話方式で会合を実施した。

（ム）　３１日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Rashd Mohsin Fetais 駐ベネズエラ・カタール大使と、二国間関係のレビューに関し、会合を実施した。

（了）